

弓道ながの

第51号

発行：長野県弓道連盟
会長 土川俊市
〒399-6303
塩尻市奈良井611
TEL0264(34)3063
編集：県弓連広報部
印刷：(株)成進社

巻頭言

会者定離

長野県弓道連盟 副会長 外 蘭 公 毅



「会者定離」、前号の編集後記にもありましたが「会った者は、いつかは必ず離れる。この世の無常をいう言葉。生者必滅、会者定離」と辞書にある。この人生の宿命の語を借りて、心身弓一如の状態を「会」とし、その状態から気合の発動のもとに胸の中筋から左右に分かれ、引絞られた弓の力を一本の矢に移すことを「離れ」としています。離れたれた矢は「しまった」と思っても返ってきません。無常なのです。だからこそ悔いの無い「離れ」をするために充実した「会」を作り上げなければなりません。

七十才を過ぎ、五十年も弓を続けておれば弓を通じて多くの出会い(会)があり、また別れ(離れ)もありました。志半ばで亡くなられた何人かの先輩の歳を越え、まだ健康で弓を引くことができ、新たな出会いがあることに感謝しています。

話は少しそれますが、この一年の内



二人による一ツ的射礼

にすばらしい出会いと悲しい別れを経験しました。すばらしい出会いは、(出会いというより出来事なのですが)わが道場で共に練習しているO君とYさんが三月に

結婚しました。昨年十二月O君から、一月の当道場の新年初射会で一ツ的射礼をやって結婚の報告をしたという相談を受けました。勿論諸手を挙げ賛成し、それから特訓が始まりました。一ヶ月の間、二人で練習している姿を何回も見ました。

初射会の当日、はらはらして緊張して見ていましたが、体配もばっちり決まり、息合ひもぴったりで、O君は甲矢をYさんは乙矢を正鶴に入れ、拍手喝采を浴びました。射礼の後、扇を射抜くとクス玉が割れるという余興も二人で考え、作製し、本当に楽しく祝福できました。

長い弓道人生の中で最高のうれしい出会いでした。

悲しい別れもありました。昨年十一月の明治神宮の定期審査会を終え、家に帰ってから四、五日後に分厚い封書が届きました。差出人は大学の弓道部の同期生T君からでした。彼は弓道部のOB会(正鶴会といいますが)の関東支部幹事でしたが、他支部、本部との連絡・交流、一年に二回ある支部総会の計画・連絡、在学生が試合で上京するとOB連中を集めて応援・歓迎会と東奔西走して活躍しておりました。

審査会当日も後輩が六段を受審するということに応援に来て、貼り出されたあった八段受審名簿に私ともう一人の同期生の名前を見つけて驚き、卒業以来始めて見た私の射に感動した(?)と写真をとくさん届けてくれました。実はこの時の甲矢は、相変わらず震えはしましたがズバツと離れの中しました。これまでの八段審査の中で一番の



平成25年11月8日 明治神宮中央道場

射だったと勝手に感激し、控室でしばらく座り込んでいました。彼が来ていることなど知る由も無く、二次審査の一立目を見て会場を後にしました。写真のお礼の電話をしたとき、彼もその頃帰ったということでした。また後輩の六段の審査が一番立で、見学席で見ていたのですが、私も長野県を受審者が一、二番立でしたので見学席で見ました。運命的な出会いもあれば運命的なすれ違いもあるものです。

これから旧交を温めようと思っていた矢先、やはり同期生のK君からT君が急病で倒れ重篤という知らせが入りました。

その後小康を得たという連絡もあり安心しておりましたが、三月半ば容態が急変し帰らぬ人となりました。その頃私も体調を崩し、見舞いにも行けず、また葬式の日も行事と重なり、最後まで彼には不義理を重ね、悔いの残る悲しい別れになってしまいました。

彼が撮ってくれた写真を見てやってください。

教士研修会に学ぶ

須高支部 教士六段 大蔵 務

七月五日、六日の二日間、平成二十六年
年度教士研修会が範士十段鈴木三成先生
を迎え、飯田県宮弓道場で開催されまし
た。

開講式で県連会長の土川先生が挨拶
で「県連では、これ以上の研修会はあり
ません。自覚をもってこの二日間を大切
にし、無駄の無い様有意義に過ごし、今
後の自己研鑽の糧にしてほしい」と話さ
れました。

講師の鈴木三成先生は挨拶で「健康が
一番だ、としをとると弓を引けると云う
事に喜びを感じるんだヨ、弓を引いた後
のご飯が美味いんだ、それで健康が保て
る、これが何より一番だよ」と話
してくれました。

成程苦しいけど好きな弓
が引ける環境にあると云う
事に感謝し、日々真剣に取り
組まなくてはと思いました。

矢渡

研修生が行う、「キン」と
いう弦の音、「バン」と小雨
の中で音が響く。張りつめた



緊張の中で「矢渡」が終了。

鈴木範士の講評「気合、息合も良しだ、
まあまあだな」と。が、研修生から多少
の注文がつく。

介添って難しい。何回やっても緊張
する。悪い処を指摘されると覚え身に
付く。解っていても間違える。そんな
繰返して上手くなる。

一手行射

「講評と講話」から

講評で研修生は、夫々「課題」を戴き、
私は二日間課題と取り組み苦しむ事とな
る。



講話

「指導者は、受講者(生徒)を型には
め込むんじゃないだヨ。それぞれの良
い処を見つけて、それを伸ばしてやれば
いいんだヨ。人は、良い処と悪い処が
半々だよ。だからいいところを褒めてや
る、そうすると上手くなるんだナ。大体
悪い処ばかり目に付くんのだヨ。それで
悪い処ばかり云っていちゃ上手くなら
んヨ。」「一人上手なのがいるとみんなう
まくなる、そいつの真似をするから」ま
た、「思い切ってやってみる、失敗を恐
れていちゃ何も出来ないヨ。やったら
出来る事もあるから伸び伸びと、楽々と
(気持ち)引いたらいいヨ。ゆとりを持
つ事だよ。結局は大きく自分の弓を引く

事だよ。そして、弓は悔しい思いをすれ
ば上手くなるんだヨ」と。前にも聞いた。
次から次へと出てくる。成程勉強にな
る。聞いているとついその気にさせられ
る。

鈴木範士の話は面白い。少し東北弁混
じりで多彩な話題で話術にはまり込む。
講話の終了が一時を回る。

射技指導から

昼食後、二射場に分かれ朝の課題と取
り組みながら指導を受ける。しかしなが
ら心と身体が全く別々の動きをして上手
く機能しない。矢数を重ねて指導を戴き、
また、先輩方からの助言も参考にしなが
ら取り組みが続く。

四時過ぎ本日の実技終了。

夜の部

午後六時、飲兵衛の喜ぶ飲み放題の時
間がやって来ました。いそいそと会場へ。
腹が減っていて料理も(?)酒も美味い。
思い出話と弓談義で盛り上がり「あつ」と
いう間の二時間で飲会議終了。続いて
第三幕。ホテルの一室で分科会が始まり、
またまた話に花が咲く。十一時過ぎ幕が
引かれ、第一日終了。

二日目

二射場に分かれ射札研修に取り組み。
広い道場での位取りは難しい。注意を受



けながら取り組む。
 昼食前、土川会長から退場動作の「方法論」についての説明と確認がありました。物事を正確に伝えると云う事は易しくない。解釈や聞き間違いが問題を生む。伝える事の責任は重い。
 午後射技指導が続き、二時鈴木範士から「来年は九十才、九十才で弓がこれだけ引けると云う証明をする」と挨拶がありました。土川会長がお礼を述べ、研修会が終了しました。
 身に付くかどうかは別として二日間良い勉強をさせて戴きました。

速報!

第65回全日本男子弓道選手権大会 平澤敏弘選手(飯伊支部)天皇盃獲得!!

天皇盃獲得は長野県弓道連盟初の偉業
 昨年の久保田智恵選手(長野支部)女子大会2位入賞に続く快挙
 詳細は次号(52号)に掲載します。



弓仲間紹介

記録帳のなかから

長野支部 五段 村越 良美

私のホーム道場 誠心館を紹介します。三人立の小さな個人道場ですが歴史は古く、結ばれたカップルあり、ドイツやフランスの交換留学生の受け入れありと、エピソードには事欠きません。

初代久保寿雄氏は上田松尾高校の弓道指南を委嘱されたこともあり、上山田温泉に転居したのを機に自宅に道場を開いたとの事です。「久保時計屋さん」の愛称で親しまれていました。

時代の流れと共に二回の道場移転を余儀なくされましたが、現在戸倉創造館の近くで三代目の久保正治氏に受け継がれています。

道場に残る記録帳を紐解くと、昭和十一年六月に道場開き記念射会があり、参加者七十一名。内6射皆中四名、5中者も五名いて、優勝者は金的も落としていました。

翌十二年からは、私が高校で指導して頂いた宮崎今朝一先生、卒業してからお世話になった村田弘美先生のお名前も見られます。



した。先生方の若い頃の射はどんなだったのでしょうかね。

昭和十五年で記録は途絶えています。弓の引けない時代の記録です。

記録が再開されたのは昭和三十五年。当番を決めて月例会を開くほど盛会で、三十七年、三十七年と県下弓道大会を開催した記録もあります。

旧姓の私が登場するのは四十七年。道場主は二代目多門氏でした。この時代は柳原光春先生を抜きには語れません。千曲川の対岸から矢渡をした「などお話を楽しく魅力ある先生の求心力で奥山誠二先生、中曽根浩先生も見えていて十段的に挑戦した記録があります。

体配の稽古には狭い道場ですので高段位を目指す方は大きな道場に移っていかれます。現在の会員は少数精鋭、それぞれに自分の課題を持ち、真摯に弓と向き合っています。

数年前から坂城高校弓道部の練習に利用されています。お若い方々に生涯の友ともなる「弓道の何かを掴んでほしい」というのが七十八年続く誠心館の願いです。



長野県弓道近的選手権大会

日時：6月22日(日) 会場：東御中央公園弓道場 8射

男子 有段者の部(40名)

- 1位 安藤 直貴 (須高) 8中
- 2位 平澤 孝一 (上伊那) 8中
- 3位 松井 幸彦 (安曇) 7中
- 4位 宮原 勝広 (木曾) 6中
- 5位 湯澤 秀雄 (上伊那) 6中

女子 有段者の部(23名)

- 1位 夏目 澄江 (中高) 7中
- 2位 宮澤久美子 (長野) 6中
- 3位 藤沢 敏恵 (長野) 6中
- 4位 原 深雪 (諏訪) 5中
- 5位 小松 暁子 (長野) 5中

男子 称号者の部(26名)

- 1位 押金 孝 (上小) 8中
- 2位 亀岡 英司 (南佐久) 8中
- 3位 伊藤 貴啓 (長野) 7中

女子 称号者の部(13名)

- 1位 牧野ふみ江 (佐久) 7中
- 2位 藤澤 敏子 (飯伊) 6中
- 3位 松下はるみ (長野) 5中

技能優秀者

- 男子有段者 安藤 直貴 (須高)
- 男子有段者 酒井 伸一 (上伊那)



長野県弓道遠的選手権大会 兼 第65回全日本弓道遠的選手権大会長野県予選会

日時：7月13日(日) 会場：県営飯田弓道場 12射

男子の部(24名)

- 1位 亀岡 英司 (南佐久) 11中
- 2位 志村 仁 (諏訪) 10中
- 3位 宮原 勝広 (木曾) 9中

女子の部(19名)

- 1位 木村 綾美 (諏訪) 10中
- 2位 井原 寿恵 (飯伊) 7中
- 3位 牧野ふみ江 (佐久) 6中



全日本選手権大会長野県代表

- 男子 亀岡 英司(南佐久) 清水 北登(佐久)
- 女子 井原 寿恵(飯伊) 牧野ふみ江(佐久)



第3回北信越弓道錬成大会

日時:7月27日(日) 会場:県営富山弓道場 参加者:北信越各県 男子・女子各5名

男子の部

- 1位 細川 孝夫 (福井県)
- 2位 宮坂 博之 (長野県)
- 3位 平澤 敏弘 (長野県)

女子の部

- 1位 久保田智恵 (長野県)
- 2位 月輪由紀子 (福井県)
- 3位 大林登志美 (富山県)

全日本男子・女子選手権大会 長野県代表選手

第65回 全日本男子弓道選手権大会(9/21～9/23 東京都)

- 宮坂 博之 (諏訪支部)
- 平澤 敏弘 (飯伊支部)

第47回 全日本女子弓道選手権大会(9/19～9/21 東京都)

- 久保田智恵 (長野支部)
- 藤澤 敏子 (飯伊支部)



北信越国体

日時:8月23日(土)～24日(日) 会場:石川県金沢市

少年女子、成年男子、成年女子の国体出場が決定

遠 的

- 少年男子 3位
- 少年女子 5位
- 成年男子 2位
- 成年女子 1位

近 的

- 少年男子 3位
- 少年女子 1位
- 成年男子 2位
- 成年女子 1位

総 合 成 績

- 少年女子 2位 国体出場
- 成年男子 2位 国体出場
- 成年女子 1位 国体出場

インターハイ準優勝・技能優秀賞(男子団体)

長野日本大学高等学校 弓道部顧問 武藤 英見

南関東インターハイ(東京)は本校弓道部にとって、忘れられない大会となりました。

思えば、ここ数年間の本校弓道部は北信越大会や中日本大会において、

- ・ H23 北信越大会(石川) …… 3位
- ・ H24 北信越大会(福井) …… 準優勝
- ・ H24 北信越新人大会(新潟) …… 準優勝
- ・ H25 中日本大会(岐阜) …… 優勝
- ・ H25 北信越新人大会(福井) …… 優勝
- ・ H26 中日本大会(岐阜) …… 準優勝
- ・ H26 北信越大会(長野) …… 優勝

- ・ H23 北東北インターハイ(岩手) …… ベスト32
- ・ H24 全国選抜大会(神奈川) …… 予選敗退
- ・ H25 全国選抜大会(大阪) …… ベスト16

・ H26 南関東インターハイ(東京)
・ 男子団体「準優勝」及び「技能優秀賞」
は、本校にとって、当初の目標を超える十分すぎるほどの成果であったと思います。
インターハイにおいての入賞は、本校の歴史の中では、昭和五十三年の男子団体3位(福島インターハイ・当時・長野中央高校)以来三十六年ぶり。長野県高校弓道・

男子団体においては、平成十年の準優勝(屋代高校)以来十六年ぶりとなります。

さて、ここまでの道のりは、まず北信大会が最大の正念場でした。例年のライオンを大きく超える21中。本校ももれなく21中(9+12中)。9チームから5チームを拾う競争でした。もし、一本でも足りなかつたら…。と思うとゾッとします。そこで終わっていました。

その北信大会終了後から合言葉は「チャレンジャー」でした。それまでの大会経験・結果が、自信に繋がっていたと共に、驕り・慢心にもなっていました。

そこからチームはそれまでと大きく変わりました。県大会・北信越大会と勝ち進んでいきました。本校は中高一貫校であるため、道場を高校生と中学生が共有しています。しかも、基本的に中学生指導は高校生が行っていますので、北信越大会が終わった後の期間は、中学生大会に向けて高校生は指導に入ります。高校生の練習量が激減する時期です。中学生シーズンが一区切りするまでの一ヶ月は、私の保護者懇談会の時期とも重なってしまっているため、ほとんど道場には行けません。チームに課していたメニューは、「中りは取っておけないし、チーム力は後

からでも追いつかせることは可能だから、今は、徹底して射の改善が必要。ビデオに撮って、みんなで見合って、気になる所はどんな言い合って、射技向上をしておこう。目標はベスト8以上に加えて、団体で技能優秀賞でもあるから。」

と彼らは、マネージャー達と共に日々射の改善・向上に取り組んでいました。ある日は自分たちで決めて、ランニングも行っていました。段々と自分たちで考え、動けるようになってきた証でした。一学期の終業式も終え、私も練習を見る事が出来るようになりました。そこから一気にチーム力の向上、実戦から離れてしまっているため、試合モードへの切り替えです。東京に向けて出発する十日前でした。残り十日の調整は、100射会・練習試合(千葉代表・船橋芝山高校・出稽古(屋代高校・須坂高校 両校様ありがとうございます)。

いよいよ出発の日。弓道部の皆、選手クラスの皆に見送られ、夏期講座中に出発となりました。目指すは、東京武道館です。

6日(水)公開練習 14中(四つ矢一回)

7日(木)開会式・応援隊到着

日本大学で練習(立射12中・坐射10中) 今回、現地での前に立ったのは、この12射だけです。後は全て、巻藁・素引き・ゴム弓での調整でした。そのため、台風接近による仮設練習会場の閉鎖も本校に

は影響はありませんでした。これまでの経験から、現地でむやみに練習をして悩みや不安が出てしまうよりも、イメージ作り中心に行う方が良いと感じています。

8日(金)団体予選 18中



団体予選は、まさかの18中。チームの集中力が最大限に発揮されました。予選2位通過。しかし選手はそれを知りません。知らせないようにして、自分たちのやるべきことに集中です。

さらに組合せ抽選の結果、マネージャーの『強い引き』が炸裂し、ベストポジションともいえるトーナメントの山に入ることが出来ました。

9日(土)トーナメント一・二回戦

【一回戦】

長野日大 対 白河高校(福島)

○ 15 | 11 ×

【二回戦】

長野日大 対 興南高校(沖縄)

○ 13 | 10 ×



この日は、無事に二回勝ち抜き、最終日まで残れることになりました。これでベスト8確定となり、当初の目標の一つであった「ベスト8以上・最終日まで残る」は達成されました。しかし準々決勝の相手は、秀岳館高校(熊本)です。全国大会上位常連、優勝回数多数、入賞も含めればいったい何回あるのか...? というぐらゐの超強豪校です。今大会、チームにおけるキーワードは「相手を意識しない」です。夜のミーティングでは、なぜ、県大会や北信越大会、中日本大会などで勝ってきているのか、なぜ、学校の想定練習ではトーナメントになるとコロッと負けるのかを話しました。実は興南高校にも想定練習で二度負けていました。さて、秀岳館・船橋芝山・倉吉西、この三校は

大会前から、「一度対戦してみたいよね」という話もしていました。まさかそれが実現する日が来るとは、です。私は、半分覚悟しながらも、残り半分は私の持ちうる限りのメンタルコントロールを使つて、生徒のパフォーマンス発揮力を高めようと努めました。ここまで来たら、もうどこも当たったって強い学校に決まっています。怖いものはありません、突き進むのみです。変に意識せず、自分たちのやるべきことをシンプルにし、一本に集中する。結果と的心中はコントロールできないが、体と心はコントロールできます。

10日(日)トーナメント準々決勝・決勝戦

【準々決勝】

長野日大 対 秀岳館高校(熊本)

○ 17 - 13 ×

まさか、秀岳館に勝るとは...。試合が終わった時に選手に聞きました。「『秀岳館』って、意識した?」「いいえ、別に。」「えらいっ!!!」

【準決勝】

長野日大 対 船橋芝山高校(千葉)

○ 16 - 13 ×

インハイ直前の練習試合では、ホームであったにもかかわらず、2勝3敗と負け越していた学校です。本番では、そんなことも意識せずにやり切りました。

【決勝】

長野日大 対 倉吉西高校(鳥取)

× 15 - 16 ○

ついに、前年度優勝校の倉吉西と対戦する時がやって参りました。しかし、選手たちの表情には余裕がありません。なにしろ、控室で顔面体操(変顔大会?)などをやっているくらいでしたから。結果としては負けてしまいましたが、素晴らしいチーム力の高まった、解散するのが惜しいくらいのチームで、お互いにカバーし合い、まとまりのあるチームでした。勝ち進んでいるというよりも、本当に弓を楽しんでいる、試合を楽しんでいるという感じでした。

まさかまさかの最終日。しかも決勝まで会場にいらることが出来るなんて夢にも思っていない、決勝終了後はバタバタと閉会式・表彰式に向けての準備でした。そんな中で、いくつかの学校の監督さんから「技能優秀の話、来ているでしょ」「他にないんじゃない?」という会話がありました。その話を確認してもいつまでも空白のままでありましたし、本校ではないな、とは思っていました。そのうち、「閉会式で『す』という声で中に入って行き、座席に座ると、全国高体連弓道専門部長の佐藤先生が、「いやー、長野日大さんよく頑張りましたね。素晴らしい弓だった」と直接私の所に来てお褒めの言葉を頂戴しました。私は、「(負けたのに...)」でして。

そのあと、座席の横に紙袋があり色々見ていると、「男子団体 技能優秀校」と書かれた紙袋と賞状の筒が入っていました。もう、跳びあがりたいほど嬉しかったこと、泣くほど嬉しかったことは言うまでもありません。表彰式でも、しっかりと準優勝(賞状・楯)・技能優秀賞(賞状・飾り弓)を頂戴し、夢ではないのだと確信しました。インハイにおいては、長野県男子団体、初の技能優秀賞。最も欲しかった賞です。

ここまでの来るのに、練習試合の相手をして下さったり、大会でも気にかけて下さったり、応援を送って下さった沢山の方々に感謝しながら、今度は「全国制覇・優勝」という忘れ物を取りに、また女子でも全国に行けるように日々頑張つて行きたいと思えます。会場では、一番と言つてもいいくらい長野県の応援が大きかったです。みなさん、ありがとうございます。



ここまでの来るのに、練習試合の相手をして下さったり、大会でも気にかけて下さったり、応援を送って下さった沢山の方々に感謝しながら、今度は「全国制覇・優勝」という忘れ物を取りに、また女子でも全国に行けるように日々頑張つて行きたいと思えます。会場では、一番と言つてもいいくらい長野県の応援が大きかったです。みなさん、ありがとうございます。

大会結果

第54回 近県弓道大会兼 西沢盃争奪弓道大会

- 平成26年6月14日(土)
 参加人数…一般のみ28名
- ▲個人(4ツ矢2回8射)
- 1位 原田正浩(中高支部) 7中
 - 2位 荒木義博(善光寺) 7中
 - 3位 土屋義雄(中高支部) 6中
 - 4位 浅石拓真(御代田) 5中
 - 5位 辰野正雄(長鉄支部) 5中

第61回 全信州弓道大会

- 平成26年6月15日(日)
 参加人数…高校の部181名 男子38チーム、女子24チーム 17校、一般の部26名
- ▲高校男子
- 1位 長野東高校A(松尾勇哉、末廣聖弥、高橋智紀) 12中
 - 2位 長野日大高校C(柄澤桂吾、山崎裕太、小林和樹) 12中
 - 3位 長野日大高校D(千野翔、金子功記、齋藤峻也) 11中
- ▲高校女子
- 1位 長野日大高校D(瀧澤里帆、島田莉奈、五十嵐ももな) 10中
 - 2位 長野日大高校B(塩崎葵、中村聖奈、山極茜里) 9中
 - 3位 須坂東高校B(酒井りあん、和田梓、寺島幸子) 8中
- ▲一般個人の部
- 1位 伊澤貴幸(須高支部) 7中
 - 2位 松倉 志(長野支部) 7中
 - 3位 荒木義博(善光寺) 7中

平成26年度長野県中学生弓道大会兼 第11回全国中学生弓道大会長野県予選会

- 平成26年6月28日(土) 塩尻市営弓道場
 備考…男女団体、個人共1位は、8月22(24日)に東京都で開催される全国大会へ出場
- ▲団体
- 1位 安曇野(荒井虹太、百瀬拓実) 8中
 - 2位 長野日大中学校 0中
- ▲女子
- 1位 松本(野田音羽、神林里菜、西堀彩夏) 7中
 - 2位 長野日大中学校 4中
 - 3位 安曇野 3中
- ▲個人
- 1位 志津田育正(丸子北) 5中
 - 2位 宮尾 智哉(長野日大) 5中
 - 3位 荒井 虹太(三郷) 4中
- ▲女子
- 1位 丸山 怜夏(長野日大) 5中
 - 2位 笠井 麻有(常盤) 4中
 - 3位 吉岡 愛珠(長野日大) 3中
- ▲飯田秀樹(飯山支部) 6中
 ▲郷道隆志(中高支部) 6中

第55回 塩尻市民体育祭夏季大会 弓道競技の部

- 平成26年7月20日(日) 塩尻市弓道場
 参加人数…高校21名、一般8名合計29名
- ▲個人
- 1位 赤羽 郁海(田川) 7中
 - 2位 金子 千尋(志学館) 7中
 - 3位 日下部 玲(志学館) 7中
- ▲高校男子
- 1位 梅原 美奈(志学館) 7中
 - 2位 杉谷 恵(都市大塩尻) 7中
 - 3位 野元さくら(田川) 7中

第57回 近県弓道上田大会 一般の部

- 平成26年7月27日(日)
 上田市宮城跡公園弓道場
 参加人数…66名
- ▲個人
- 1位 小田切祐典(小諸桜) 12中
 - 2位 島田有理子(信州大学A) 11中
 - 3位 堀澤はすみ(信州大学D) 10中
- ▲団体
- 1位 信州大学A(藤森千友貴、島田有理子、関浩道) 30中
 - 2位 信州大学C(石井健太郎、尾家だいすけ、瀬在昭憲) 21中
 - 3位 白田弓道会B(菊原淳史、亀岡英司、菊原秀浩) 21中
- ▲一般男子
- 1位 伊藤公二(塩尻) 6中
 - 2位 広田義照(善哉館) 6中
 - 3位 内木 敏(塩尻) 6中
- ▲一般女子
- 1位 折橋光江(善哉館) 6中
 - 2位 中村永子(善哉館) 6中
 - 3位 鎌 裕子(善哉館) 6中
- ▲団体
- 1位 田川B(藤森亮、松澤和義、小松宥成) 7中
 - 2位 田川女子(濱野桃花、西澤早紀、野元さくら) 7中
 - 3位 志学館B(小平丈太郎、三澤瑞希、宮本優真) 7中

第34回 飯田市中心道沿線都市 スポーツ大会弓道競技

- 平成26年8月3日(日)
 飯田運動公園県営飯田弓道場
 参加人数…267名(高校生169名、一般98名)
- ▲個人
- 1位 寺本有希(甲府商A) 7中
 - 2位 南 洗輔(松川B) 7中
- ▲高校男子

弓道合宿予約随時受付中!

野辺山洗心弓道場

- 近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
- 12人立2ヶ所
- 遠的道場 1ヶ所

帝産ロτζヂ

〒384-1305
 長野県南佐久郡南牧村野辺山1003
 HP : <http://www.teisanlodge.com/>
 ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

- 3位 伊藤 歩(恵那南A)
- 4位 中村 燎平(甲府工A)
- 5位 野口 優也(岡谷東A)

- ▲高校女子
- 1位 堀内 香那(岡南B)
- 2位 北尾有佳理(土岐商A)
- 3位 原 芽美(伊那西A)
- 4位 小林 希(岡南B)
- 5位 奥村いずみ(土岐商A)

- ▲一般
- 1位 松枝敏広(竜東)
- 2位 堀部康二(瑞浪デスマス)
- 3位 棚田好信(スリーナイン)
- 4位 長島永治(岐阜よつちゃん)
- 5位 加藤千佳(黒弦弓道部A)

- 団体の部
- 1位 瑞浪デスマス(堀部康二、加藤隆文、小栗一浩)
- 2位 中津川C(浅井義裕、大橋誠矢、渡會芳行)
- 3位 甲府工業A(倉鹿野智也、中村燎平、雨宮啓貴)

安曇野大会

○平成26年8月3日(日)

安曇野市豊科弓道場
参加人数・156名(高校102名、一般54名)

- ▲高校個人の部(8射)
- 1位 赤津みなみ(松商A)
- 2位 吉田 和也(蟻ヶ崎A)
- 3位 小口 亮也(美須々A)
- 4位 白沢 真聖(松商C)
- 5位 勝川 翔伍(大町高校A)
- ▲一般個人の部(8射)
- 1位 小田切祐典(小諸懐古)
- 2位 中山 雅之(白嶺)
- 3位 吉野 恒夫(池田A)
- 4位 牛越 和枝(あづみ・弓幸会)
- 5位 荒井ゆき子(あづみ・弓萬会)

▲高校団体の部

- 1位 美須々A(平塚竣哉、太田莉緒、小口亮也) 9中
- 2位 市川工業(豊科)(塚田侑未、土屋映美、宮田優花) 9中
- 3位 蟻ヶ崎A(吉田和也、二木彩華、大澤巧) 8中

▲一般団体の部

- 1位 あづみ・弓萬会(山地利彦、荒井ゆき子、丸山萬佐巳) 7中
- 2位 混合(井出克彦、松井幸彦、猪原誠二) 7中
- 3位 松商OB(塩入瑠偉、松井勇樹、大久保雅揮) 6中

第54回弓道須坂大会

○高校の部 平成26年8月23日(土)

参加人数・520名
○一般の部 平成26年8月24日(日)
参加人数・66名
須坂市弓道場

■一般の部

- ▲団体(近的12射)
- 1位 善光寺(竹内博、笠井信夫、小池君男) 9中
- 2位 飯山B(江田浩二、小田切雄一郎、石田真) 9中
- 3位 中野土びなA(清水みつ子、夏目澄江、土屋義雄) 8中

▲個人(遠的4射3中以上で射詰)

- 1位 原周 一郎(尚弓会C) 2詰
- 2位 竹内 博(善光寺) 1詰
- 3位 松下はるみ(向日葵) 0詰
- ▲個人(近的16射)
- 1位 江田 浩二(飯山B) 14中
- 2位 小田切祐典(弓友会) 14中
- 3位 矢部 誠一(尚弓会A) 12中
- 4位 伊藤 梓(竟成会撫子) 11中
- 5位 白澤 恒夫(長野玄武隊) 11中

私と弓道

上伊那支部 五段 井口 正弘

私が弓道を再開しようと思ったのは、平成十七年、病床で動けずいた時の事でした。

当時私はバドミントンを十数年来やっており、試合に熱が入り過ぎてつい無理をし、頸部椎間板を痛めた結果、約二十日間の入院となってしまいました。

動けなくなった自分自身に対し「もうスポーツは出来ないぞ」と言い聞かせている時に、頭に浮かんで来たのが「弓道の再開」でした。

高校時代、勉強もそっこのけで出来たばかりの弓道部(当時同好会から昇格したばかりで、音楽関係のクラブと掛持ちの方も何人かいて、とても皆熱心に取り組んでいたとは言えない状態でした。)を何とか

生活を送る事が出来ました。その時の仲間が生涯の友として今に至っております。

卒業する時「生弓道を続けよう」と思っていたのですが、なかなか機会が生ぜず、勤務の関係で十数年この地を離れていた事もあり、心の中にしまったまま過して来ましたが、怪我を切った掛けに再開を決意でき、まさに暗くなつた心に光明が射す思いでした。

それから駒ヶ根道場の門を叩き、弓道教室に参加させていただいて、今に至っております。

ほぼ三十年弓に触れていなかったのですが、引き方は体が覚えていたのには自分自身驚きました。一生懸命やっていた事は、何事も、何年経っても忘れないう宝物になるのですね。

ただ当時の癖「早気」も忘れておらず、試合で顔を出すのが悩みの種です。



強くしようと大人の方の道場へ何人か連れて練習に行ったり、練習方法を考えたりしている内に部全体に活気が出始め、成績は県大会止まりでしたが充実した高校

▲高校の部

- ▲団体男子
- 1位 長野D(池内優太、渡辺公啓、下川亮太)
- 2位 長野吉田B(上野友裕、岡部直貴、村本直輝)
- 3位 飯山北A(田中花道、山崎勇輝、宮島圭吾)

▲団体女子

- 1位 屋代A(中島冬萌、飯島千智、西村友梨香)
- 2位 中野西B(小林閑、小林万里奈、定塚浩未)
- 3位 松代C(町田雅菜、奥野七海、宮澤智咲)
- 4位 長野D(中島かおり、嶋田多希、美谷島麻莉)
- 5位 須坂東C(酒井りあん、和田梓、寺島幸子)

▲個人男子

- 1位 下川 亮太(長野)
- 2位 渡辺 公啓(長野)
- 3位 桑山 優太(坂城)
- 4位 宮島 圭吾(飯山北)
- 5位 佐々木祐一郎(北部)

▲個人女子

- 1位 千脇あさひ(須坂)
- 2位 仁科あかり(屋代)
- 3位 荒井 綾音(長野日大)
- 4位 飯島 千智(屋代)
- 5位 中島 冬萌(屋代)

第92回 諏訪大社御射山奉射会 第64回 近県弓道下諏訪大会

○平成26年8月24日(日) 下諏訪町宮弓道場
参加人数・159名(高校109名、一般50名)

▲奉射(近的4射)

- 1位 亀岡英司(帝産ロッジ)
- 2位 岩原裕貴(岡谷)
- 3位 中村 宏(下諏訪睦月)
- 4位 成瀬尚弘(恵那)
- 5位 中村美穂(伊那B)

▲近県大会

- ▲個人の部(奉射近的4射+近的4射)
- 1位 亀岡英司(帝産ロッジ)
- 2位 岩原裕貴(岡谷)
- 3位 堀口 修(恵那)
- 4位 成瀬尚弘(恵那)
- 5位 中村 宏(下諏訪睦月)

▲団体の部(射数24射)

- 1位 恵那 堀口修、成瀬尚弘、新渡戸賢
- 2位 岡谷(柴翔太、岩原祐貴、上野隼)
- 3位 帝産ロッジ(柳澤正吾、亀岡英司、日向力)

第60回 大町市制記念県下弓道大会

○平成26年8月24日(日)
大町市運動公園弓道場
参加人数・123名(高校80名、一般43名)

▲一般団体の部

- 1位 池田A(吉野恒夫、渡辺敏夫、曾根原登志男)
- 2位 白嶺(中山雅之、野村源太、田中公博)
- 3位 善哉館(折橋光江、中村永子、堀田健一)

▲高校団体の部

- 1位 岡谷工A(金子夏暉、山口剛、山川彰平)
- 2位 大町A(中島真之、片瀬知樹、勝川翔伍)
- 3位 蟻ヶ崎A(二木彩華、吉田和也、大澤巧)

▲近的個人の部(8射)

- 1位 河端悠平
- 2位 野村源太
- 3位 田中公博
- 4位 中山雅之
- 5位 渡辺敏夫

▲遠的個人の部(8射)

- 1位 松井 幸彦
- 2位 加藤さち子
- 3位 中山 雅之
- 4位 宮原 勝弘
- 5位 山川 彰平

第29回 北信地区高校弓道大会

○平成26年8月31日(日)
長野運動公園弓道場
参加人数・488名(男子247名、女子241名)

▲個人の部

- ▲高校男子
- 1位 酒井 優豪(中野西)
- 2位 青木俊太郎(長野日大)
- 3位 神頭健志郎(文化学園長野)
- 4位 下川 亮太(長野)
- 5位 塚田 大成(長野工業)

▲高校女子

- 1位 飯島 千智(屋代)
- 2位 寺島 幸子(須坂東)
- 3位 水見早矢歌(須坂)
- 4位 瀧澤 祐希(長野吉田)
- 5位 美谷島麻莉(長野)

▲団体の部

- ▲高校男子
- 1位 長野日大C(青木俊太郎、小林和樹、千野翔)
- 2位 長野東A(松尾勇哉、末廣聖弥、高橋智紀)
- 3位 須坂B(丸山穂高、月岡幸希、小林竜哉)

▲高校女子

- 1位 須坂B(水見早矢歌、安田美波都、末岡花)
- 2位 屋代C(中島冬萌、駒村直子、西村友梨香)
- 3位 須坂東C(酒井りあん、和田梓、寺島幸子)

●●● 弓道 ●●●

県営飯田弓道場の和室につきの書がある。「弓禪一如無我証道」弓道範士、善光寺老、林亮天とある。初代県連会長の書である。僧籍にして範士まで上りつめた林先生の「弓禪一如」は、自らの姿を写しているのだろう。

飯山に「正受庵」を開き、白隠禪師の師として知られる正受老人の言葉に「的面(てきめん)の今」がある。

弓で矢を射る瞬間、一切の雑念を振り払い、的の一点だけに集中させるように、一瞬一瞬に思いを集中させて生きる、ということ。まさに「いつやる、今でしよう」だ。正受老人は松代藩主真田信之の子にして仏道一途の人、弓も達人だったのだろうか。

わたしの弓の師匠のひとり、書家でもある宮島一(教七)先生の色紙「白隠禪抄」を自室に掛けてある。

「的に心をとられぬように 己が体躯をよく固め 心に余念無きよう 腹を突き出し身構えて 腹力強く息をこめ 心静かにゆるゆると ねらい澄して放つ矢は 必定はづれぬものぞかし」

いやでも毎日、目につくが、臨済宗の中興の祖と言われ、全国を行脚し、一万点もの書画を描いたとされる白隠に、はたして弓を手にする時間があっただろうか、調べたが白隠と弓をつなぐものは出てこない。思いあまつて宮島先生に典を聞いてみた。「君、弓道教本の第四巻にあるよ」、読んでないのかと言われんばかりの口調に、なんとも赤面だった。疑問は残るが。

飯伊支部 松澤 英男